

アレグザンダー著 オクタヴィアン原画 『トルコの服飾』銅版画の連作で図示した英・仏語の解説つき

Alexander, William. The costume of Turkey, illustrated by a series of engravings ; with descriptions in English and French. London, William Miller, (1802) 1804. 60 plates (copper. hand-col.) 37.0×27.0cm 383.126-A (文献番号10-57)

Hiler p.16 Colas 782 Lipp.1422

オスマン・トルコ帝国 (1209-1922)時代後期の人々の様々な階層、職業、服飾を60枚の点刻銅版画で紹介した本書は、1802年ロンドンの W. Miller社刊行の二刷本である。鮮やかで繊細な手彩色が施された図版は当時の服飾の風俗的背景を知ることが出来る。

スレイマン一世時代の最盛期には、トルコの領土はアジアからアラビア半島、エジプト、アフリカ、バルカン半島にまで及んだが、17世紀スルタンの治世になると衰退の一途をたどっていった。そのため、1804年に刊行された本書にはトルコ人のほかに、ギリシア人、ユダヤ人、ベドウィン人、タタール人、アルメニア人、ボスニア人などの庶民の服飾、回教の神学者、修道僧の宗教服、サルタン、王妃、パシヤ(文武高官)、国会議員、官吏、大臣等ブルジョア階級の服装、近衛兵、騎兵のユニホーム、民族衣装などが登場する。

著者はアレグザンダー (William Alexander 1767~1816) であろうと推定される。当時彼は陸軍士官学校の絵画の教師であり、後に大英博物館の版画・素描室の学芸員として優れた才能を発揮した。彼の作品のいくつかは当時の南ケンジントン博物館に所蔵されている。

彼は本書の他にも同様の主題でThe costume of Chinaをロンドンの W. Miller社から、又服飾風俗図鑑Picturesque representations of the dress and manners (オーストリア(文献番号4-80)、中国、イギリス(文献番号3-5)、ロシア(文献番号5-6)、トルコ)をロンドンのT. M'Leah社と J. Murray社から出版している。



トルコ皇帝と高官の正装